

改定計画		成果目標	評価指標	事業の評価	具体施策の進捗状況	評価
基本方針	施策					
1 前橋らしい風土を継承する	(1) 風格ある県都の顔をつくる	市民が県都の緑の景観に風格を感じている	市民満足度(アンケート)をモニタリングします。	55.2%(H30)から61.0%(R3)に5.8ポイント増。	100% 4項目中4項目が実施中(施策1～施策4)	街路樹の日常からの適正な管理や、風致地区や景観形成モデル地区による緑化等の維持管理により、県都としてふさわしい緑の景観が維持されているものと考えます。 またけやき並木通りを活用したイベントにより、シビックプライドが育まれ、市民満足度の増加に繋がったと考えます。
	(2) 郷土の風景を守る	印象的な樹木群や大木はの風景が守られている	松並木などランドマークとなる印象的な樹木群や大木の指定数を増やします。	前橋市景観資産登録制度において、R2年度「総社山王地区の養蚕住宅群とかしぐね」、R3年度「赤城神社参道松並木」を風景と視点場として登録した。 H30年度に保存樹木としてかしぐねを18件を新規登録。	100% 7項目中7項目が実施中(施策5～施策11)	引き続き、制度の周知を図り、継続を促し、風景の保全・活用に繋げていきたい。
	(3) 生物多様性を守る	都市における生物多様性指標の評価が上昇している	生物多様性指標(国交省:都市における生物多様性指標 簡易版)を評価します。	指標1 : 52.07(緑地等の現況) 指標2 : 1.54(法令等で確保されている緑地) 指標4 : a(動植物種の状況調査の実施状況) 指標5-1 : 35,723.69(温室効果ガス吸収量) 指標5-2 : 12.86(樹冠被覆面積) 指標5-3 : 52.07(透水効果) 指標6 : 12/14項目(行政の生物多様性取り組み状況) 指標7 : 5/8項目(行政計画への住民等の参加状況)	100% 7項目中7項目が実施中(施策12～施策18)	指標1(緑地の現況)は、全国平均を下回っている状況だが、指標2(法令等で確保されている緑地)は、全国平均を上回っている。指標4(動植物種の状況調査の実施状況)については、本市は毎年実施している。指標5(生態系への影響)については、指標1の(緑地等の現況)に連動することから、全国平均を下回る状況となった。指標6(行政の生物多様性取り組み状況)と指標7(行政計画への住民等の参加状況)については、本市の取り組み項目は比較的多く全国平均を上回る状況となった。
2 緑の恵みが感じられるまちをつくる	(1) 緑豊かなまちをつくる	市街地の緑が増えている	市街地の緑地率10%を目指します。	前回9.35%から今回9.39%に0.04ポイント増。	100% 12項目中12項目が実施中(施策19～施策30)	分母となる市街地面積が増えたため、増加率は低いものの、市街地での開設公園は5.83ha増加している。今後市街化区域編入した区域での公園も建設される予定であり、更なる増加が見込まれる。
	(2) にぎわいある公園緑地をつくる	にぎわいある公園が増えている	Park-PFI導入公園を増やします。  市民満足度(アンケート)をモニタリングします。	・日赤跡地CCRC事業において整備したコロンシティ公園においてPark-PFIを導入した。 ・総合公園等における民間活力導入に関するサウンディング調査を実施し、Park-PFI導入に向け、検討中。  40.2%(H30)から38.2%(R3)に2.0ポイント減。	100% 7項目中7項目が実施中(施策31～施策37)	市民満足度の減少は、コロナ禍により、イベントの減少や人が集まることへの忌避感の高まりが影響しているものと考えられる。
	(3) 水と緑を巡る回廊をつくる	赤城風景街道のルート整備が進んでいる	赤城風景街道の利用資源を増やします。	R3年度、赤城山信仰の中心的存在である三夜沢赤城神社を舞台にスローシティ推進事業補助金を活用した実行委員会によるオーロラ、音楽、アート、光や食などのイベント「赤城SUNdo」を支援。	80% 5項目中4項目が実施中(施策38～施策42)	R4年度策定の歴史的風致維持向上計画において、歴史的風致に指定し、赤城山信仰に対する線的、面的なストーリー立てを行っていく。
3 水と緑を楽しむ文化を広げる	(1) 水と緑への関心を高める	市民の水と緑への関心が高まっている。	市民の関心度(アンケート)をモニタリングします。	46.1%(H30)から51.7%(R3)に5.6ポイント増。	100% 5項目中5項目が実施中(施策43～施策47)	「緑と花の講習会」の開催や、「ばら園まつり」などのイベントにより、花と緑のある暮らしの普及に努めた。
	(2) 暮らしの中の水と緑との関わりを深める	緑に係る市民活動が活発になっている	暮らしに役立つ公園の評価(アンケート)をモニタリングします。	20.7%(H30)から25.3%(R3)に4.6ポイント増。	100% 7項目中7項目が実施中(施策48～施策54)	公園の愛護活動に顕著な功績のあった団体や個人に対して表彰を行い、市民活動を促すことができた。
	(3) 水と緑を育む仲間を増やす	産官学民連携による取り組みが進んでいる	産官学民による緑のまちづくりのプロジェクト数を増やします。	・「緑と花の講習会」やばらガイドの養成を通して、市民の緑に対する知識を深めた。 ・一般社団法人前橋デザインコミッションが、馬場川遊歩道の改修工事計画を進めている。	100% 7項目中7項目が実施中(施策55～施策61)	継続して、産官学民による、緑のまちづくりのための仕組みづくりを検討していく必要がある。